

授業科目名	看護政策論 <i>Nursing Policy</i>					担当教員	倉岡 有美子、柳井 圭子				
開講年次	1年後期	セメスター	2			時間数(単位数)	15(1)				
必修選択	選択	授業形態	講義			使用教室					
授業の目的	看護職者として保健医療福祉制度の在り方、改革の方向等を見据えて、身近な看護政策とその決定プロセスについて理解を深め、看護政策の変遷・現状と課題を考察するとともに、政策に関与し提言していく基本的な能力を育成する。										
到達目標	1. 看護職者として政策決定過程を理解し、政策的課題を把握できる。 2. 看護政策の変遷を理解し、現代および将来に向けた課題を見いだすことができる。 3. 看護職者として政策過程に参画するための基礎的能力を養う。										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
	○	○			◎						
授業計画	1回 看護政策の概念および看護政策と看護活動について (倉岡 柳井) 2回 看護政策の課題と政策決定過程について (田村やよひ 倉岡) 3回 看護政策の具体的展開事例 看護師等の臨床研修制度をめぐって (田村やよひ 倉岡) 4回 看護政策の具体的展開事例 (倉岡 柳井) 看護師の特定行為研修制度をめぐって (学生によるプレゼンテーション) 5回 看護政策課題の分析 ① (倉岡 柳井) 6回 看護政策課題の分析 ② (柳井 倉岡) 7回 看護政策過程への参加について (柳井 倉岡) 8回 保健師助産師看護師法の課題と提言について (倉岡 柳井)										
学習方法	授業は、受講者によるプレゼンテーションを行い、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んでください。最近の保健・医療・福祉政策の動向を把握しましょう。										
オフィスアワー	メールで事前に連絡をとってください。 倉岡：y-kuraoka@jrckicn.ac.jp 柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp										
テキスト	特に指定しません。										
参考文献	井部俊子監修：看護管理学習テキスト第3版第1巻ヘルスケアシステム論 2019年版。東京、日本看護協会出版会、2019。 田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版。東京、日本看護協会出版会、2018。 野村陽子：看護制度と政策。東京、法政大学出版局、2015。 見藤隆子、石田昌宏他：看護職者のための政策過程入門 第2版。東京、日本看護協会出版会、2017。 看護行政研究会編：看護六法 2019年度版。東京、新日本法規、2019。 その他、適宜紹介する。										
評価方法	授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50%，課題レポート：50%										